

2027年2月期 第2四半期決算説明資料

2026年10月14日
株式会社 **セイヒョー**

- 1. 2027年2月期 第2四半期決算概要**
- 2. 2027年2月期 業績見通し**
- 3. 中期経営計画について**
- 4. 株主還元（配当・株主優待）**
- 5. トピックス**

1. 2027年2月期 第2四半期決算概要

◆売上高 3,870百万円 (前年同期比24.9%増)

◆営業利益 139百万円 (前年同期比25.7%減)

➤ 売上高は、主力のアイスクリーム部門において、かき氷カップが伸長し、富山工場におけるOEM製品の売上も寄与。前年同期比24.9%増の3,870百万円となりました。

➤ 損益面では、エネルギーコスト・人件費の上昇に加え、中東情勢を背景とした包装資材価格の上昇や原材料の価格改定により製造コストが期初の想定を上回りました。また、製品在庫の保管期間長期化に伴う支払保管料や売上増に伴う運搬費の増加により販管費が増加し、営業利益139百万円（同25.7%減）、経常利益141百万円（同29.9%減）、中間純利益80百万円（同39.6%減）となりました。

	2027年2月期 第2四半期		2026年2月期 第2四半期	
	実績 (百万円)	売上高 比率(%)	実績 (百万円)	売上高 比率(%)
売上高	3,870	—	3,097	—
売上原価	3,075	79.4%	2,404	77.6%
売上総利益	795	20.5%	693	22.3%
販管費	655	16.9%	505	16.3%
営業利益	139	3.6%	188	6.0%
経常利益	141	3.6%	202	6.5%
中間純利益	80	2.0%	133	4.2%

1. 2027年2月期 第2四半期決算概要



【業績予想と実績との差異】

2027年2月期 第2四半期（中間期）累計（2026年3月1日～2026年8月31日）（単位：百万円、1株当たりは円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	3,800	230	230	160	113.96
実績値（B）	3,870	139	141	80	57.25
増減額（B－A）	70	△91	△89	△80	—
増減率（％）	1.8	△39.2	△38.3	△49.7	—
（ご参考）前期実績 2026年2月期 第2四半期	3,097	188	202	133	95.29

◆差異の理由

- **売上高**：富山工場におけるOEM製品の売上増加に加え、自社製品のかき氷カップが伸長し、ファミリータイプの2Lバニラアイスも堅調に推移。主要販売エリアの気温や降雨の影響により「もも太郎」等の氷菓製品は伸び悩んだものの、前回予想を上回りました。
- **利益**：エネルギーコスト・人件費の上昇に加え、中東情勢を受けた包装資材価格の上昇や原材料の価格改定により製造コストが期初の想定を上回りました。また、製品在庫の保管期間長期化に伴う外部倉庫への支払保管料、売上増に伴う運搬費の増加により販管費が増加し、各利益は前回予想を下回りました。
- **通期業績予想**：現時点では前回公表した予想を据え置き。下期の販売・生産計画並びに費用の見通しを精査中であり、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

1. 2027年2月期 第2四半期決算概要



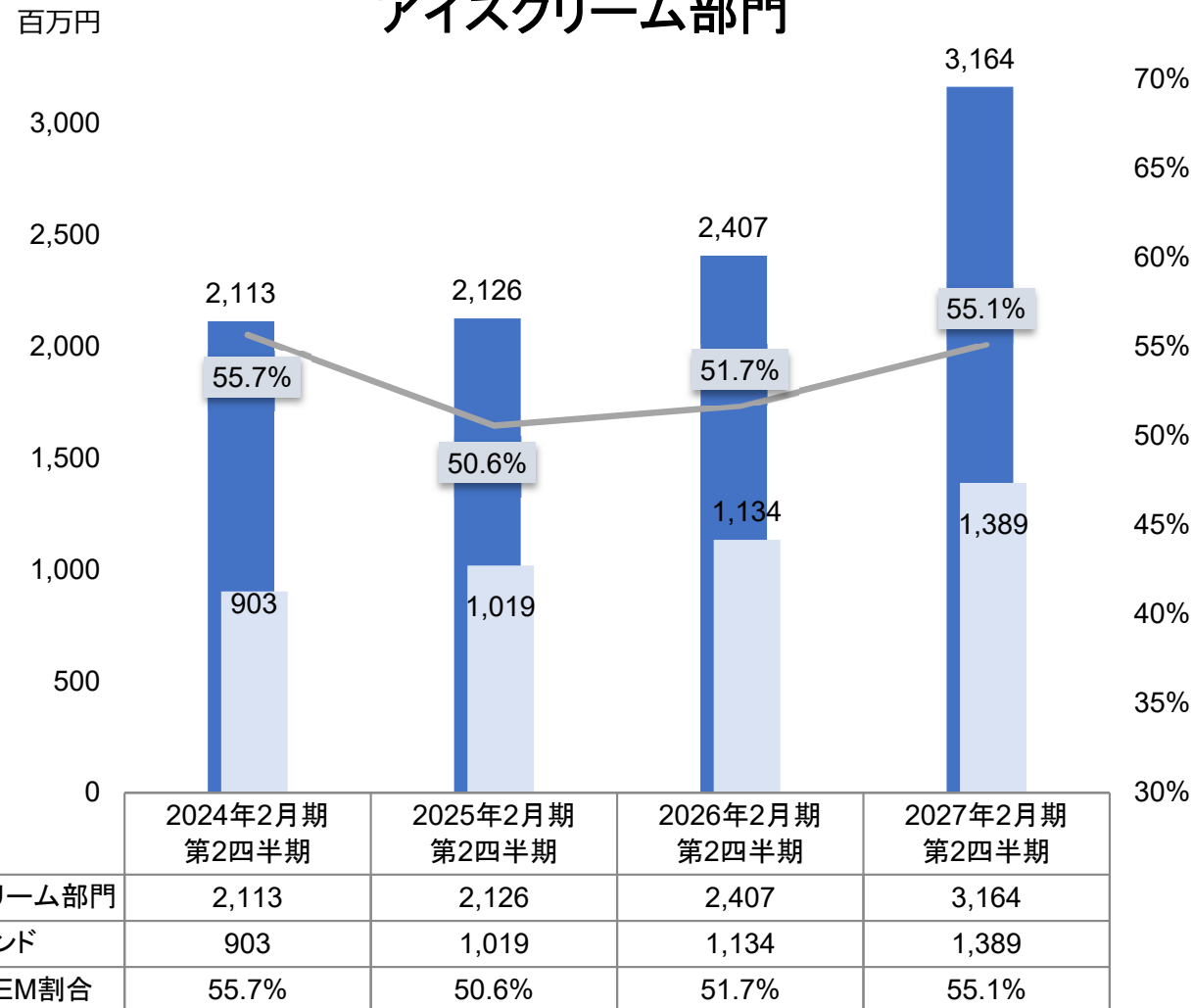
【部門別業績】

◆ アイスクリーム部門

アイスクリーム部門は
3,164百万円(前年同期比31.4%増)

- 自社製品売上
前年同期比22.4%増の1,389百万円
このうち「かき氷カップ」が前年同期比で
46.3%増と大幅に伸長
- OEM製品売上
前年同期比40.2%増の1,744百万円
森永乳業(株)向けは、富山工場の取得
により増加し、お取引先様と当社が協働で
企画・開発を行う案件（共創型OEM）
も好調に推移

アイスクリーム部門



1. 2027年2月期 第2四半期決算概要



【部門別業績】

◆ 仕入販売部門 380百万円(前年同期比5.3%増)

- 昨今の流通構造の変化に伴い、一部のお取引先様においてメーカー直接取引への移行が進んだ影響を受けた一方で、佐渡の観光需要回復に伴い、ホテル・飲食店向けの業務用商品は好調に推移

◆ 和菓子部門 200百万円(前年同期比8.7%減)

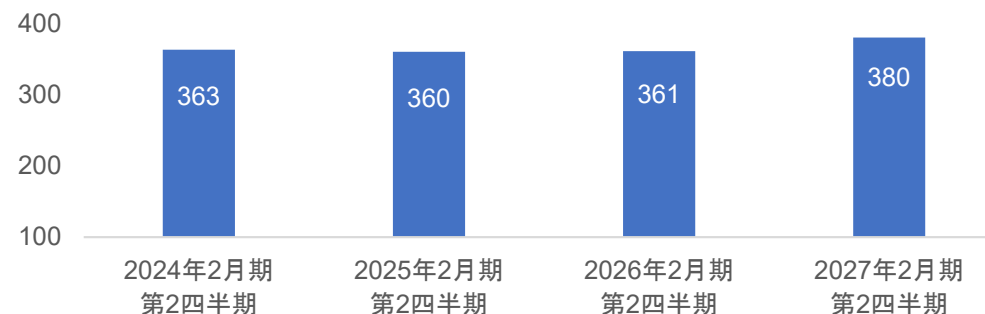
- 和菓子部門の主力製品である越後名物「笹だんご」は販売価格改定の影響により低調に推移。大福も微減。

◆ 物流保管部門 124百万円(前年同期比14.4%増)

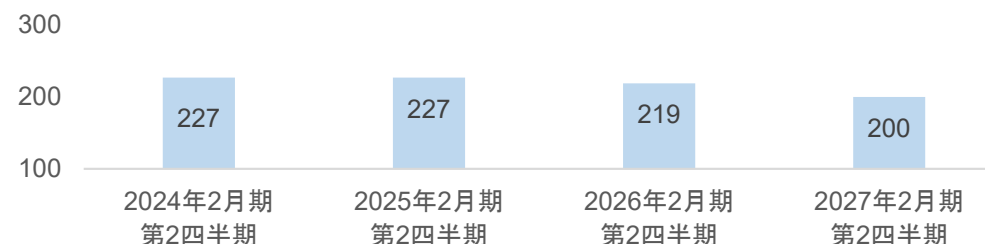
- 冷凍品の保管需要は高く、受託数量の増加に伴い好調に推移

百万円

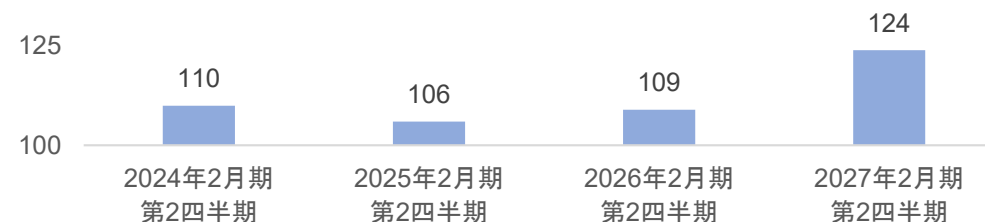
仕入販売部門



和菓子部門



物流保管部門

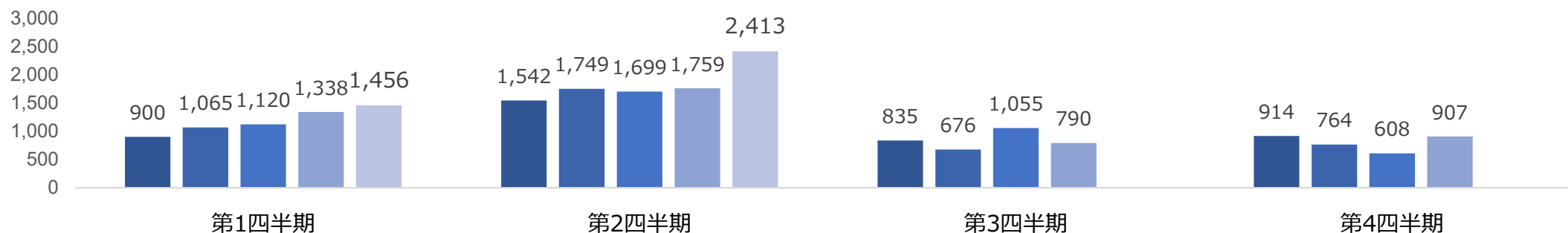


当社業績における季節性



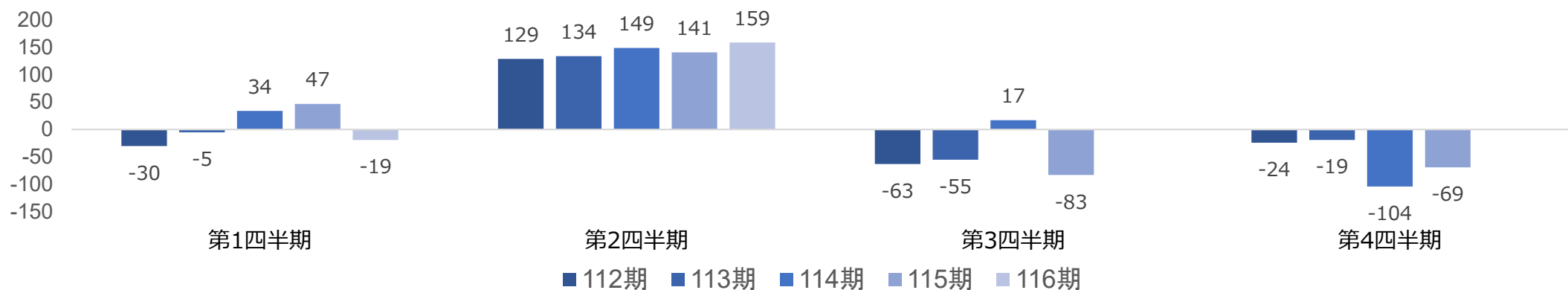
百万円

四半期別 売上高推移



百万円

四半期別 営業利益推移



- 当社は夏季期間（第2四半期会計期間：6月～8月）に集中して需要が発生
そのため、第2四半期会計期間の売上高は他の四半期会計期間と比べ著しく高くなる傾向

2. 2027年2月期 業績見通し



◆ 2027年2月期の通期業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(通期)

期	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期純利益 (千円)	営業利益率	当期純利益 率	1株当たり 配当(円)
予想：116期	6,000,000	126,000	126,000	95,000	2.1%	1.5%	18(予想)
実績：115期	4,796,658	35,373	54,526	11,476	0.7%	0.2%	18

主力のアイスクリーム部門においては、富山工場が通年で寄与することにより、生産体制の強化を通じたOEM需要の取り込みが進むとともに、主力製品であるかき氷カップを中心に売上を拡大しております。また、自社製品においては「Marone（マロネ）」シリーズのラインアップ拡充を含む新商品の投入により、ブランド認知の向上を図ってまいります。

一方で、エネルギーコストの高止まりや人件費の上昇によるコスト負担が継続する中、中東情勢の影響を受けた包装資材価格の上昇や、継続的な原材料の価格改定により、先行きについては引き続き不確実性の高い状況が続いております。

これらの状況を踏まえ、2027年2月期通期業績予想につきましては、売上高は6,000百万円（前期比25.0%増）、営業利益126百万円（前期比256.1%増）、経常利益126百万円（前期比131.0%増）、当期純利益95百万円（前期比727.7%増）となる見込みであります。

なお、通期業績予想は現時点では前回公表した予想を据え置いております。下期の販売・生産計画並びに費用の見通しを含め現在精査を進めており、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

3. 中期経営計画「ONE SEIHYO, BEYOND LIMITS」



売上高100億円企業への飛躍を見据え、中期経営計画
「ONE SEIHYO, BEYOND LIMITS」を策定
(2027年2月期～2029年2月期)

Double Core + Specialty 当社が持つ4つの生産工場の役割を明確化

新潟工場・富山工場 「ダブル・コア（主力エンジン）」 アイス量産・供給能力最大化
三条工場・佐渡工場 「スペシャリティ（専門工場）」 冬季の収益貢献・地域密着強化

営業・マーケティング戦略

ブランドの深化	商品ポートフォリオの強化	商圏の積極的拡大
SNSを活用した企業の信頼・魅力の発信強化	新ブランド「Marone」や冷凍和菓子の強化 → 夏季偏重からの脱却	富山工場を物流ハブとして活用 関西・中京エリアへの販路拡大推進

3. 中期経営計画「ONE SEIHYO, BEYOND LIMITS」



収益構造改革

【営業利益率改善の施策】

- 集中購買による原価率低減
- 自動化・省力化投資による労務費率改善
- 製造ロス削減による原価低減（チョコ停、廃棄等の削減）
- 価格転嫁による売上単価向上
- 富山工場フル稼働による固定費吸収

数値目標

	2025/2期 (前々期実績)	2026/2期 (前期実績)	2027/2期 (計画)	2028/2期 (計画)	2029/2期 (計画)
売上高（千円）	4,484,618	4,796,658	6,000,000	6,500,000	7,000,000
営業利益（千円）	96,300	35,373	126,000	170,000	210,000
営業利益率	2.1%	0.7%	2.1%	2.6%	3.0%
経常利益（千円）	123,070	54,526	126,000	170,000	210,000
当期純利益（千円）	119,504	11,476	95,000	120,000	150,000
ROE	8.9%	0.7%	5.9%	6.0%	6.9%

3. 中期経営計画「ONE SEIHYO, BEYOND LIMITS」



【成長イメージとマイルストーン】

2027/2期（初年度）	2028/2期（2年目）	2029/2期（最終年度）
営業利益率：2.1%以上達成	営業利益率：2.6%以上達成	営業利益率：3.0%以上達成

増産体制の確立と販路再開拓に注力する
「準備の時期」と位置づけ

富山工場のフル稼働に向けた
段階的な増産効果が業績に寄与

全工場フル稼働・販路拡大による売上高70億円超
営業利益率3.0%の必達を目指す

3. 中期経営計画「ONE SEIHYO, BEYOND LIMITS」



【人的資本戦略とサステナビリティへの取り組み】



当社は健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）認定取得企業として、全拠点共通で従業員のウェルビーイング実現に取り組めます。

環境面では2026年4月より新潟・三条・富山・豊栄の各工場（佐渡・東京を除く全拠点）において、再生可能エネルギー由来の非化石証書を活用した電力契約を締結しており、いわゆるグリーン電力相当の電力を使用することで、電力使用に伴うCO₂排出量を実質的にゼロとしています。

各拠点に設置の冷蔵倉庫の冷媒についても、自然冷媒（アンモニア・CO₂）への転換を推進いたします。

新潟工場バイターライン熱源ユニット



豊栄工場太陽光発電システム（PPAモデル）

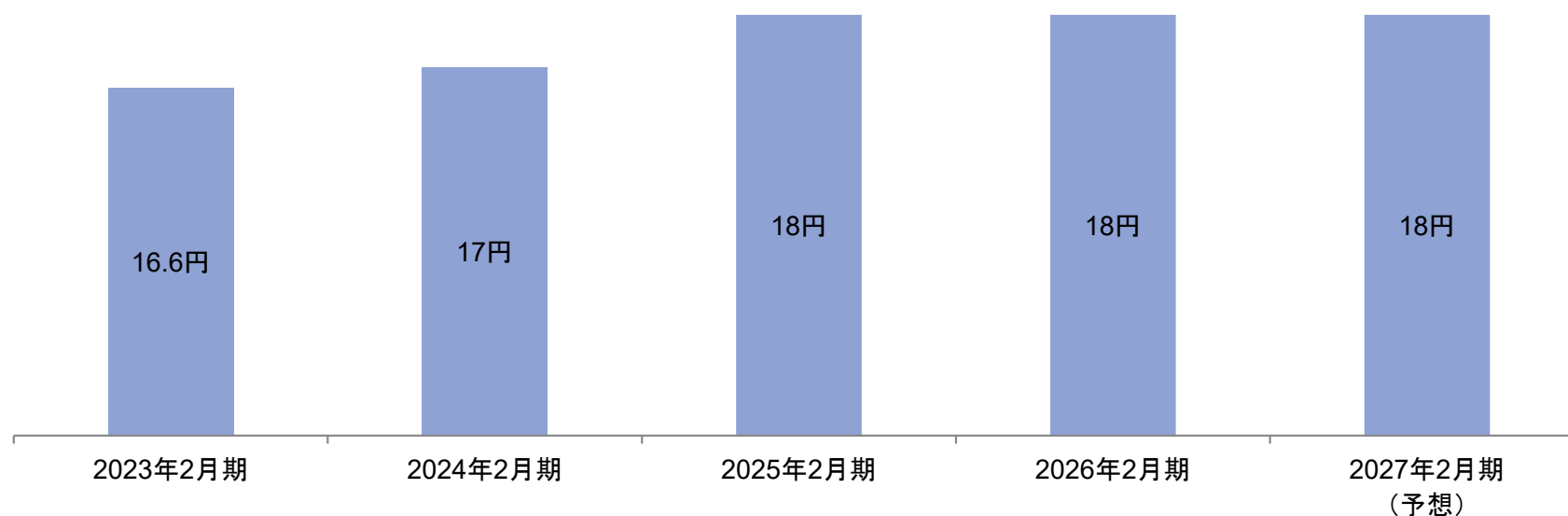


4. 株主還元：配当推移及び配当方針



当社は、利益配分につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することが基本的な方針

1株あたりの配当金額の推移



※ 2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。

- 株主還元に関するベンチマークを用いた還元方針に関しては、現在の当社を取り巻く状況と今後の収益状況を見極めたうえで検討を行っていくことといたします

4. 株主還元：株主優待制度について



株主優待制度

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品をよりご理解いただくこと、また、当社株式への投資魅力を高め、中長期的により多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

当社主力製品の魅力をより実感していただけるよう、2027年お届け分より基準日および贈呈時期を変更することといたしました。

株主優待の内容

ご優待品	100株以上 500株未満	2,000円相当の当社製品詰め合わせ
	500株以上 1,000株未満	3,000円相当の当社製品詰め合わせ
	1,000株以上	4,000円相当の当社製品詰め合わせ
基準日	毎年 <u>2月</u> 末日	
贈呈時期	毎年 <u>5月</u> ～ <u>6月</u>	



掲載写真は株主様ご優待品の一例です。
実際にお届けするご優待品の内容とは異なります。

5. トピックス



「Marone（マロネ）」シリーズに2つの味が新登場

「慌ただしい毎日の中で頑張るあなたへ寄り添い、気分を緩めてくれる、やさしくまろやかな味わい」がコンセプトのアイスバー「Marone（マロネ）」シリーズから、あらたに「ミルク＆クッキー」と「紅茶＆クッキー」の2品が登場いたしました。

しっとりとした優しい食感のクッキーを混ぜ込み、より満足感を感じられる商品となっております。

ミルク＆クッキー

コクのあるまろやかなミルクアイスに香ばしいクッキーを組み合わせました。毎日食べても飽きない味わいです。



紅茶＆クッキー

アッサム茶葉を使用したミルクティー風のアイスと香ばしいクッキーを組み合わせました。優雅なひと時を感じられる、華やかな味わいに仕上げました。



本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。

なお、使用するデータおよび表現等の欠落や誤謬につきましては、当社はその責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、本資料の無断複製・転載は、固くお断りいたします。



※業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。